



HAREBARE

晴ればれ

祖父母が耕した畑で
納得のブドウを作る

特集／
お正月の縁起物
黒大豆のヒミツ

生産部会紹介／
久世西条柿生産組合

広報1年生が行く／
女性部 びほく地区
とりつけもちづくり

直売所だより／
あしん広場



5品種のブドウを、32㍓の露地と無加温ハウスで栽培する横山彰彦さん。

2年目の収穫を終え、土づくりや土壌改良など、来シーズンにむけ、着々と準備が始まっています。

子どもの頃から親しんだ農業

子どもの頃、祖父母の田んぼや黒大豆栽培を手伝い、農業が身近にありました。「自然の中で農業がやりたい」と思いを募らせ、生活を安定させるためには子どもたちが小さいうちにと、5年前に就農フルーツが好きで、中でも一番好きなブドウを選びました。

研修を受けながら苗木を植え、2024年から本格的に出荷を始めました。思い出される田畑に、今はブドウの樹が枝を広げています。初めて出荷の箱詰めをしたとき「ブドウ農家になったんだな」と実感。一番に家族に食べてもらいました。「おいしい」とうれしそうな姿にパワーをもらい、「家族の理解と助けでここまでできた」と話します。

壁を乗り越える

園には岡山を代表する「ピオーネ」や「シャインマスカット」のほか、

若手生産者を紹介

美作ぶどう部会
よこやま あきひこ
横山 彰彦さん
(42)

笑味ちゃん
天気予報
でも紹介



祖父母が耕した畑で 納得のブドウを作る

田畑に広がるブドウに思いを馳せる横山さん

作業分散のために植えた晩生の品種をそろえます。

2025年はベテランでも大苦戦するほどの天候異常でした。高温と日照り後の9月は、度重なる夕立ちで、果皮が裂ける被害を多く受けました。また気候の関係で房の軸が伸び、「間引きに時間がかかり過ぎて大房になってしまった」と振り返ります。自然相手でも毎年同じようにできないことに難しさを感じました。

自信を持って 送り出せるブドウを

現在の無加温ハウスは先輩農家の手を借り、自身で作り上げました。面積を広げ、加温栽培への挑戦も考えています。「一番の理解者である妻と一緒に農業がしたい」と話し、「手を入れた分だけ返ってくるのが農業の魅力。『食べてうれしい、おいしいブドウ』を目指し、経験を重ね、自分に厳しく、味に厳しく、納得のいくブドウを消費者に届けたい」と前を向きます。

このページのお問い合わせは美作アグリセンター(0868-72-9031)まで

生産基盤を強化し

食料自給率向上を

新年あけましておめでとうございます。2026年の年頭にあたり組合員ならびに地域のみなさまのご健勝を心からお祝い申し上げます。旧年中は、当J Aの事業全般にわたり、格段のご協力を賜りましたことに対しまして深く感謝を申し上げます。

昨年は、物価高騰が家計を直撃し、生活費の負担が増大するなど生活に及ぼす影響が非常に大きい年でした。農業におきまして、生産資材価格の高止まりで、生産コストの高騰が農業経営の持続性を脅かしている状況にあります。

J Aグループでは持続可能な農業を実現するために、農業所得の確保にむけ、コスト上昇分を価格に転嫁できる、適正な価格形成制度を早急に構築するよう政府に対して要請しているところであります。

国際情勢の不安定化や地球規模での気候変動の影響により、食料の安定供給への懸念が高まっています。

国産農畜産物の生産基盤を強化し、自給率向上に貢献していくことがJ Aグループの存在価値であり、安定供給に努めていくことが最大の使命であります。このためにも地域農業の維持・発展にむけて、産地の育成・強化に取り組んでまいります。

当J Aが地域になくってはならない存在になるよう尽力してまいりますので本年もよろしくお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

代表理事組合長
ないとうとしお
内藤敏男



代表理事組合長
ないとうとしお
内藤敏男



農業の経営安定に向け 予算拡充を要請

11月10日、東京都千代田区で開かれた「J Aグループ基本農政確立大会」に参加し、食料安全保障の強化にむけたJ Aグループの重点要請事項を決定しました。

将来にわたって農業生産に取り組めるよう、農業関連予算総額の拡大と人件費・物価高騰を踏まえた各種政策の補助率の見直しなどを要望。適正価格形成を実現する取り組みや生産コストに着目し、新たな経営安定対策の構築など所得を支えるセーフティーネット(安全網)の確立を求めることとしました。

山下貴司衆院議員ら7人の県選出与党国会議員へ「食料・農業・農村基本計画」の実行性の確保を図るため「農業構造転換集中対策期間(2025〜2029年

度)で、農地の大区画化などの農業・農村整備の加速、老朽化した農業用共同利用施設の再編・集約、別枠で必要な予算を確保することなどを要請しました。

11月14日には岡山市で、自民党岡山県議団へ農業施策の充実と関連予算の増額などの国への働きかけを求めました。



山下議員(中央)へ要請書を手渡した磯田健一常務(右から2人目)らJ Aグループ岡山の代表(11月10日東京で)

お正月の縁起物

黒大豆のヒミツ



おせち料理に欠かせない「黒大豆」。今回は、お正月にちなみ全国でも有数の出荷量を誇る岡山県産の黒大豆をピックアップ！岡山県的主要産地の取り組みなどをお伝えします。

●全国屈指の勝英地区

ブランド「作州黒」

全国でも有数の産地の一つである勝英地区のブランド「作州黒」。地区全体で870戸が約280畝で栽培をしています。株切り後は太陽光に当てることで、アミノ酸含有量を上げ、甘みが増すので、はぜかけや島立てで乾燥するように徹底しています。

美作黒大豆生産組合

勝英地区の黒大豆の生産は、稲作に次ぐ基幹作物として推進し、産地間競争が激化する中、「作州黒」の名でブランド化しています。自然乾燥を徹底し、良品生産に取り組んでいます。「丹波黒」の流れを汲み大粒でコクと甘み、滑らかな食感が自慢です。

組合では約50年前から栽培を始めましたが、高齢化などで生産者が減少。現在は、50人が27畝で栽培しています。異常気象も重なり、収穫量に影響が出ています。

先代が築いたブランドを守るため、全安心な黒大豆を生産し、さらなる品質向上・収量回復・後継者育成に力を入れていきます。



専用のハサミを使って手作業で収穫します



みずしま こうじ
水島 恒治組合長

猛暑に負けない栽培を

異常気象が常態化し、年々農産物が作りにくい環境になっています。2023年「作州黒」は、栽培が始まって以来の大凶作に見舞われました。

JAではどんな作柄にも対応できるよう、毎年その年の生育分析や営農指導を徹底し、生産量の回復に努めています。水不足はサヤ数の減少や裂皮などの発生にもつながるため、「黒大豆は水稻よりも水が必要」との認識を広く共有し、ほ場の温度上昇を抑えるためにも畝間かん水を奨励しています。今季は生産量が前年より回復傾向にあるなど、徐々に成果が現れてきました。次年度にむけて今季作の内容を精査し、試験栽培などを取り入れながら、収量の回復、生産者の所得確保にむけた取り組みを進めていきます。



畝間かん水では場の温度上昇を抑制

畝間かん水では場の温度上昇を抑制

大粒で風味豊かな「作州黒」



株切り後、天日干しする「島立て」

イメージキャラクター「くろまるくん」

ブランド化に向けて活躍しています。商品パッケージにも描かれているのでぜひ見つけてね！



今年は手作りしてみませんか？

煮豆の作り方

マメな豆知識！

さびた釘を入れると、豆の退色を防ぎ、綺麗な黒色に仕上がるよ！



材料

黒大豆 …… 250g 塩 …… 小さじ1と1/4
熱湯 …… 10カップ 重曹 …… 小さじ1/2
砂糖 …… 200g さびた釘 …… 10本
しょうゆ …… 大さじ1

作り方

- ①黒大豆はかぶるくらいの水に浸し、手ですくい上げるようにしながら洗う。
- ②口径が20cm強ぐらいの深鍋に熱湯・砂糖・しょうゆ・塩・重曹を入れて混ぜ、①と布袋に入れたさびた釘を入れ、ふたをしてそのまま1晩(7～8時間)おく。
- ③鍋の蓋を取って強火にかけ、煮立ったら水1/2カップ(分量外)を入れる。



水を加えることで温度を下げ、豆の中まで均一に柔らかく煮えるよ。これを「差し水」「びっくり水」というよ！

- ④沸騰がおさまったら、浮いてきたアク(泡)を取る。
- ⑤落とし蓋*をかぶせ、弱火にする。
※2枚重ねにしたペーパータオル・ガーゼ・中央に穴をあけたアルミホイルでもOK。
- ⑥柔らかくなったら火を止め、落とし蓋とさびた釘を取り出し(ペーパータオルなどならそのまま)煮汁につけたまま、一日おいて味をなじませる。

煮豆を作ったら…

まだまだ楽しめるアレンジレシピ！

しょうがと黒豆のくずもち

黒大豆と黒ごまの
ジュシー味噌ロール



レシピはこちら



レシピは
こちら



こくこくちや
「黒々茶」

豆特有の香ばしい風味が魅力です。カフェインレスなので小さなお子さんや妊婦の方にもおすすめ

こだわりの材料で、黒大豆の旨味をしつかりと味わえます。ぜひご賞味ください！



「煮豆 作州黒」

厳選した黒大豆をふっくらと炊き上げました



JA晴れの国岡山
内藤 敏男組合長



OnlineShop

加工品は、旬感広場「晴れのち晴れ」、勝央アグリセンターほか、JAオンラインショップなどでお買い求めいただけます。

「おかやまの黒豆」

- きなこ
- 甘納豆
- いりまめ



きなこは、お正月のお餅にもピッタリ！牛乳や豆乳に入れても栄養価アップでおいしいよ

内藤組合長もおすすりめ！

作州黒の加工品

マメな豆知識

おせちに
込められた思い

「邪気を払い災いを防ぐ」「健康長寿の願い」などの意味が込められているといわれます。「まめ」の語呂合わせで「まめに働く」など勤勉さの意味も含まれています。



栄養満点！

「畑の肉」ともいわれ、タンパク質といった栄養素のバランスがよく、ポリフェノールの一種である「イソフラボン」なども多く含まれています。

生産地は他にもあるよ！

賀陽小豆・
大豆生産部会



みやい けんじ
宮井 健次部会長

約40年前、米の転作物として栽培が始まりました。栽培に最適な標高200～500mに位置し、柔らかくて甘みがある黒大豆が育ちます。
ほ場の状態を見極めて、苦土石灰と堆肥の量を調整しています。刈り取り・自然乾燥まで全て手作業で取り組み、2月上旬に出荷します。
近年、高温や少雨の影響、高齢化による部会員の減少に直面しています。JAの担当職員らと連携して、新規就農者の確保にも力を入れています。



担い手確保にむけて「西条柿」の認知度向上に力を入れる

栽培スケジュール

西条柿

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
せん定				摘蕾		摘果				収穫	

組合長にインタビュー やだに ともひと 矢谷 知仁 組合長



■生産組合の特徴

古くから地域で冬の保存食として食べられてきた「西条」を新たな特産品にしようと、転作作物として選定。研究会を経て1989年ごろから栽培を本格化させました。

組合では炭酸ガスで渋を抜く「あわし」にして出荷。脱酸素剤を封入して密封するため、冷蔵庫で長期保存が可能で、市場からも重宝されています。

糖度18度を超えるものもあり、果肉の繊細でまろやかな食感と上品な甘みで「一度食べたらやみつきになる」とリピーターも増えています。

組合設立30年の節目を迎えた昨年は、オンライン販売をスタートさせ、リーフレットも新しく作成して販路拡大やPRにむけたツールを増やしました。リーフレットの表紙には、実需者からも評判のよい、毎来寺（真庭市）の岩垣正道住職の版画を使った化粧箱のデザインをそのままいかし、インパクトある作りにしまし

生産部会 紹介

久世西条柿生産組合 (真庭地域)

概要

地域	真庭市
組合員	8戸
栽培面積	1.8ha



版画をあしらった
人気の化粧箱

た。「干し柿を作ってみたい消費者が増えている」という市場からの声に応え、今季から干し柿用の紐を封入した渋柿の取り扱いも始めました。思った以上に好評で、食文化への興味の高さがうかがえました。また一部は干し柿やあんぼ柿にも加工し、冬の食卓に彩りを添えています。

■今後の取り組み

同市でも高齢化が問題となっており、担い手育成が早急の課題です。数年前から産地見学会や直売所での対面販売を通じて、特産を知ってもらうところからスタートしています。

味や形を統一し、品質の向上につなげようと、組合設立当初に栽培していた樹の中から、収量・実太り・味がよく、加工しても味のよい樹のせん定枝を育苗し、増やしていく取り組みを始めました。早ければ4年後には、昔から伝わる久世の極上の「西条柿」をお届けできると思います。

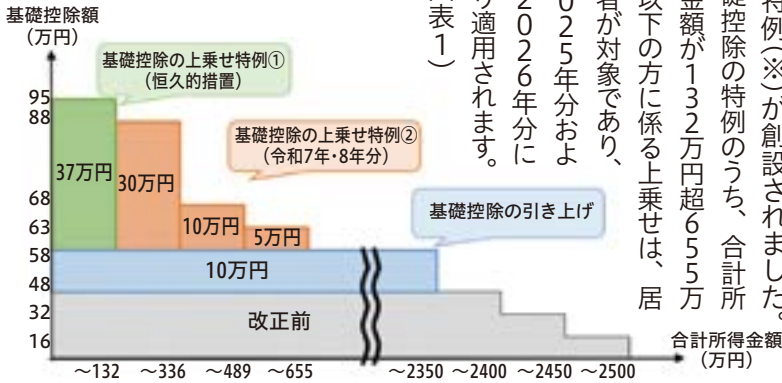
基礎控除が見直されます 2025年度税制改正

2025年度税制改正により、物価上昇局面における税負担の調整および就業調整への対応として、基礎控除の引き上げ、特定親族特別控除の創設などが行われました。これらの改正は、2025年分以後の所得税について適用されます。

① 基礎控除

合計所得金額が2350万円以下の方の基礎控除額が10万円引き上げられました。さらに、基礎控除の上乗せ特例(※)が創設されました。※基礎控除の特例のうち、合計所得金額が132万円超655万円以下の方に係る上乗せは、居住者が対象であり、2025年分および2026年分に限って適用されます。

図表1



② 特定親族特別控除

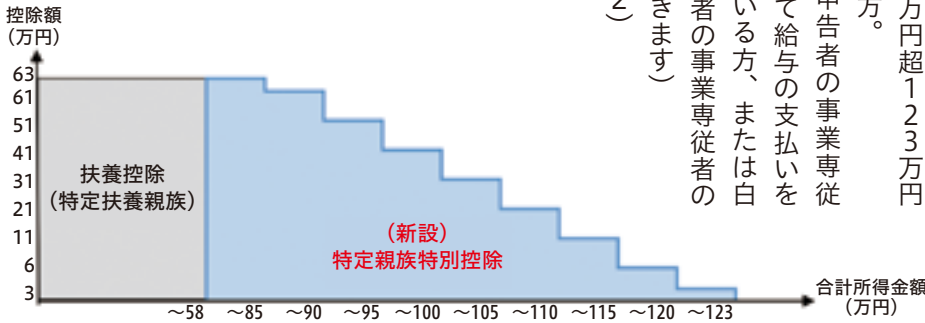
居住者が生計を一にする特定親族(※)を有する場合は、その特定親族の合計所得金額に応じて次の金額を控除する「特定親族特別控除」が創設されました。

※特定親族：その年の12月31日時点で19歳以上23歳未満の配偶者以外の親族の方で、合計所得金額が58万円超123万円以下の方。

(青色申告者の事業専従者として給与の支払いを受けている方、または白色申告者の事業専従者の方を除きます)

(図表2)

図表2



「農業ポータルおかやま及びポータル専用サービス」2026年3月末で終了

「農業ポータルおかやま及びポータル専用サービス」は2026年3月末日をもちましてサービスを終了いたします。ご利用中の方は、**必要なデータを2026年3月31日(火)までに保存**いただきますようお願いいたします。

国税庁LINE公式アカウントをご利用ください

国税庁LINE公式アカウントから、さまざまなオンライン手続きをご利用いただけます。各メニューをタップすると、国税庁ホームページなどの各種画面に遷移し、スムーズに手続きができます。また、受け取りたい情報を事前に受信設定することで、「確定申告が必要な方」、「医療費控除」、「ふるさと納税」などのご自身のニーズに合った情報をタイムリーに受け取れます。

国税庁LINE公式アカウントの友だち追加はこちらから



和牛子牛セリ市況

(JA全農おかやま総合家畜市場)

性別	頭数	最高価格(税込)	平均価格(税込)	平均体重
雌	112	825,000円	671,658円	293kg
去勢	134	992,200円	773,801円	320kg
総合	246	992,200円	727,297円	308kg

※総平均価格が前月より10万1,354円高と、大幅に上げた。70万円を上回るのは2022年4月以来、3年7ヵ月ぶり。全国的に子牛が不足し、相場が上がっている。

直売所出荷者募集 旬感広場「晴れのち晴れ」

旬感広場「晴れのち晴れ」の出荷会員を募集しています。詳しくは下記コードをご覧ください。

【お申し込み・お問い合わせ先】

0866-93-2338(9時～16時)



8つの地区を毎月リレーでつなぎます



8地区の部員が交流 「女性が創る、地域と未来」

女性部は11月上旬、総社市で女性リーダー研修も兼ねた交流集会を開きました。8つの地区から部員76人が集まり、親睦を深めるとともに、女性部として地域のためにできることを探りました。

全地区



▲押し花のキーホルダーが完成



▶ピンセットを使ってキーホルダーに押し花を配置する部員(左)

家の光専門講師・JA全中くらしの活動推進アドバイザーの佐久間幸子さんが「女性が創る、地域と未来」と題し講演。女性が持つパワーの素晴らしさや女性部が抱える課題、活性化にむけてできることなどを話し、部員は熱心に耳を傾けました。佐久間さんは「地域の中で『あの人になりたい』と言われるような人になってほしい」と働きかけました。

講演後、押し花を使ったキーホルダーづくりに挑戦。笑顔で交流集会を締めくくりました。

びほく地区



笑顔で楽しくつながろう 旅行で仲睦まじく



▲大江ノ郷自然牧場(鳥取県)などへ行きました

11月中旬、部員70人が旅行を通じて交流を深めました。活動の活性化と「仲間づくり運動」を進めようと企画。鳥取県の「大江ノ郷自然牧場」と国の重要文化財「石谷家住宅」を巡りました。昼食には、地元の農家が愛情込めて育てた卵を使ったパンケーキに舌鼓を打つ

など、秋の景色や味覚を楽しみました。

部員は「仲間と一緒に楽しく旅行ができた」と話しました。河原京子部長は「親近感が仲間づくりにつながる。今後も笑顔で楽しくつながりのある女性部を目指す」と意気込みます。

あなたも女性部に入って活動に参加してみませんか 詳しくは

このページに関するお問い合わせは経済部(086-476-1838)まで



びほく地区とりつけもちづくり 一緒に楽しくやってみよう



▲「とりつけもち」が完成しました

つきたてのお餅を
一口大に切るのに
苦戦しました



▲あんなの作り方を学びました



さかもと
広報担当 坂本

今回は伝承料理への理解を深めました。
びほく地区産の新米「ヒメノモチ」と県産の「大納言小豆」を使った「とりつけもち」を作りました。「とりつけもち」とはあんなころ餅のことで、この地域では「おていれ」や「うすね」とも呼ばれます。

小豆のおいしい炊き方を一から教えてもらい、手間のかかる工程に驚きました。全員で協力してつきたてのお餅に絡めました。今年度は、うどんや太巻き寿司、ゆず味噌などの伝承料理を若い世代に伝える「仲間づくり運動」に力を入れています。また、年1回支部混合のグラウンドゴルフ大会を開き、部員同士の交流を深めています。河原京子部長は「やってみたいと思ったら、ぜひ活動に参加してほしい」と話します。



女性部の活動を紹介
女性部の和やかな
雰囲気が感じられますよ!



農業のために 地域のために 明日のために

JA共済の地域貢献活動

直売所だより

Vol.8
あしん広場

みんなが食べて「おいしい」と

感じるお米を作りたい



食べた人の笑顔が見たいと
米づくりに励む千原さん

新見市正田



今月の
出荷者

千原 栄さん
(新見市神郷下神代)



新見市正田397-2
営業時間:8:30~18:00(4月~10月) / 8:30~17:30(11月~3月)
定休日:火曜日(祝日・GW・お彼岸・お盆は営業)
☎0867-72-7705

水稲担い手部会の1人として、おいしく安全安心なお米を出荷できるよう仲間とともに栽培に励んでいます。JAへ出荷し、1等米と評価されたものが「にのみ源流米」です。施肥などを工夫し、1等米を目指して「コシヒカリ」と「ヒメノモチ」を育てています。2025年は高温と少雨の影響で、水管理に苦労しました。品質への影響を心配しましたが、おいしいお米ができたときはホッとしました。米価は上がっているものの生産資材は高いままと依然厳しい状況です。みんなが食べて「おいしい」という声と笑顔が見たい、そんな想いで田んぼを耕しています。来シーズンにむけては場の土づくりを頑張っています。

笑味ちゃん
天気予報
でも紹介 //



新見産「ヒメノモチ」を使った
お餅は、白餅・豆餅・しゃぶ
しゃぶ餅などがスバリ



焼肉・すき焼き
など用途に応じた「千屋牛」を販
売しています



出荷会員が500人を超え、多彩な農作物が一年を通して出荷されます。春は山菜、夏はトマトやモモ、秋はブドウやキノコなど、県北の豊かな自然をいかした農産物が四季折々に楽しめます。冬場には新見産「ヒメノモチ」を使ったお餅が人気です。施設内の特産館にはモモ・ブドウ・米・「千屋牛」などを季節に合わせて品ぞろえし、全国に発送しています。併設する焼肉店では千屋牛を牧場直営ならではのリーズナブルな価格で提供しています。

私の
これがオススメ!



まつなが りんたろう 店長
松永 林太郎

農林水産大臣賞を受賞した長濱さん(右)



8 働きがいも
経済成長も



長濱さん(新見市)が大臣賞 ブドウ農家38人が表彰

県とJAグループが主催する岡山県うまいくだもの推進大会が11月下旬、岡山市で開かれました。今年度2回開いた共進会に出品されたブドウ128点の中から、入賞した38人の生産者を表彰。農林水産大臣賞に長濱健一さん(新見市)、岡山県知事賞に柚木林草さん(井原市)、瀧川哲也さん(井原市)が輝きました。

長濱さんは「栽培10年目の節目となる年に受賞できうれしい。今後も大粒で形の整ったブドウを目指して努力していきたい」と話しました。表彰式後には、共進会で新人賞を受賞した久米南ぶどう部会の福島正沙さんが「移住から就農までの道のりを振り返る!」と題し、優良事例を発表。現在の栽培規模や就農までの振り返り、ブドウ農家になって感じたことを説明しました。福島さんは「これからも高品質なブドウを作り続けたい」と話しました。



役員が出向き支援要請 資材高騰で24市町村に



伊東市長に要望書を手渡す内藤組合長(右)

農業生産資材の価格高止まりなどで農業経営が厳しい状況に直面しているとして、県内12市10町2村の自治体へ役員が出向き、支援を要請しました。

JAでは経営支援や地域資源の活用、スマート農業技術の導入支援などに取り組んでいます。が、地域農業の持続的な発展を図るため、農業経営を下支えする施策の充実・強化を求め前年に続き要望書を提出。農家のコスト負担が大きい現状や鳥獣被害対策、耕作地維持の重要性な

どを説明し、営農意欲につながる支援を訴えました。

11月下旬には、内藤敏男組合長ら役員が倉敷市役所を訪問。伊東香織市長へ要望書を手渡し、内藤組合長は「米などの価格が上がっても、それ以上に生産資材が高騰している。農家へより一層の支援をお願いしたい」と話し、伊東市長は「国の状況などを見ながら、どのような支援ができるか今後検討していきたい」と応えました。



スイートピー出荷 700万本目指す 船穂町花き部会



スイートピーの仕上がりを確認する井上部長

船穂町花き部会は、11月上旬からスイートピーの出荷を始めました。長年培ってきた技術により、今季も香り高く、色鮮やかに仕上がっています。3月頃に最盛期を迎え、約700万本の出荷を目指します。

14戸が3.5畝で栽培。ピンク・ホワイト・パールなど染め品種を含めた80種類以上を扱います。2026年1月23～25日には、JRR倉敷駅で「いい船穂スイートピー記念日」イベントを予定しています。

井上昌彦部長は「香り豊かで繊細な色合いを楽しんでほしい」とPRします。



「高齢者の見守り」市と協定 安心なまちづくりに貢献

高齢化の進行に伴い、見守りの重要性が高まる中、赤磐市の「地域見守りネットワーク事業」に賛同し、同市内の

全支店・事業所での協定を締結しました。職員が通常業務において高齢者の異変に気が付いた場合、市と連携を取りながら早期発見と適切なサポートにつなげる取り組みです。

11月中旬には協定締結式を開催。赤磐市の前田正之市長が「人と人との助け合いは必要不可欠。協定は力強く感じている」と話し、金光章副組合長は「見守りの輪を広げ住民の信頼に応える体制を整え、安心して暮らせるまちづくりに寄与する」と応えました。



前田市長から協定書を受け取る
金光副組合長(左)



レンコンを学ぶ 児童が収穫

「連島れんこん」の生産者は、地域の特産を子どもたちにつないでいきたいと毎年、倉敷市立連島南小学校で栽培の授業を行っています。校内に約3㍑の畑を作り、児童と一緒に育てています。

10月下旬には、生産者4人が5年生160人と収穫。折れないように注意しながら掘り進め、約100畧を掘りあげました。

児童は「レンコンを作る難しさがわかった。たくさん収穫できて楽しかった」と笑顔を見せました。



きれいに掘りあげたレンコンをよるこぶ児童と生産者



冬の定番 ほくほくねっとり焼き栗

10月下旬を皮切りに、国産甘栗「作州栗®」の焼き栗を県内や大阪の直売所などの店頭で販売し、好評を博しました。職員が手作業で切り込みを入れ、専



焼きたての「作州栗」を購入する来店者



課題解決に期待 米新品種を試験栽培

用の機械で圧力をかけて焼き上げます。香ばしい香りと湯気が立ちのぼり、買い物客が足を止めて何袋も買い求めています。

実演販売でファンを作り、地域一体となって生産者・栽培面積を増やし、知名度を上げて市場出荷・所得増大・耕作放棄地対策などにもつながります。



「ZR1」の粒を比較する参加者

津山地区では、異常気象などによる水稻の品質低下などが問題視される中、耐暑性があり、大粒で多収、良食味の新品種「ZR1」の試験栽培に乗り出しました。

11月上旬につやま集落営農法人部会の研修会で参加者に提案。試食で良食

さいじょう

伝統つなぐ「最上干柿」

(矢掛町山ノ上地区)

柿の収穫に追われる土井農園。建屋内には、鮮やかなつるし柿ののれんが並ぶ(11月6日撮影)

干し柿の里で知られる矢掛町山ノ上地区で、たわわに実った柿が赤く色づき、収穫や加工の作業が最盛期を迎えました。標高約250mに位置する高台は、日当たりがよく霧がかからないため、昔から干し柿づくりが息づきます。民家の軒下や柿干場で、天日干しの風景は秋の風物詩になっています。

同地区の干し柿は「最上干柿」と呼ばれます。江戸時代に大名へ献上したところ「最上においしい」と評価されたことに由来します。

土井農園では、10月下旬から収穫と並行して柿の皮むきや縄につるす作業に追われました。先代から受け継ぐ「横吊り」という独自の製法をいかし、天日干しでじっくり時間をかけて熟成させ、美しい赤色とやわらかな食感に仕上げます。

代表の山部美由紀さんは「この土地の気候風土と先人が培ってきた技術を担っている責任を感じている。感動を与えられる商品を届けたい」と話します。

動画も公開中!



今年度は天候の影響は少なく上々な出来となりました。生産者は「栽培時期を検証し、安定出荷を目指したい」と話します。

キャベツの出来を確認するJA職員



味をPRし、栽培を呼びかけました。業務用の中・外食用に契約栽培を推進し、実需者と結びつけて「売れる米づくり」につなげます。

契約キャベツ出荷 需要に応え農地を守る

**Instagramで
キャンペーン中!**

あなたの自慢したい郷土料理を教えて!

ふるさとの味がみんなの笑顔をつなぐ

**私のふるさとごはん
キャンペーン**

コメントで参加して
「岡山のうまいもん詰め合わせ」
をGET!

フォロー コメント

応募期間
2025年12月22日(月)~2026年1月31日(土)

詳しくはこちらをご覧ください



共進会で最優秀賞を受賞した柴田真孝さん(右)

共進会の表彰式も行い、来年度にむけ士気を高めました。

まにわ花き部会協議会の生産者大会を11月下旬、真庭市で開きました。

真庭地区は地域の特性をいかした多品目を栽培。物価高で花の消費が落ち込む中、高品質な生産でブランドを強化し、消費拡大につなげていくことを申し合わせました。

花きブランド強化 課題共有し消費拡大へ



津山基幹
アグリセンター
もりかず たかし
森数 高嗣



種まき時期

4月下旬～10月上旬 ※3回程度種まきできる

●平坦地 春まき／3月上旬～5月中旬

秋まき／9月上旬～10月下旬

冷涼な気候を好みますが、耐暑性・耐寒性があり、遮光で暑さを防ぎ、簡単な保温をすることで、早春から晩秋まで栽培できます。種まきができる期間は長いので、何回にも分けて栽培できます。

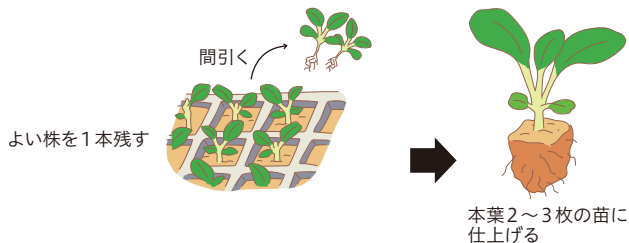
1. 畑の準備



種まきの2週間以上前までに有機石灰をまきます。1週間前に堆肥をまき、すき込みます。

2. 苗づくり

128穴のセルトレーに1カ所3～4粒まき、その上に新聞紙を覆って均一に発芽させます。本葉1枚の頃、間引いて1本立ちにします。



3. 元肥入れ

元肥を施し、20cmくらいの深さにすき込みます。

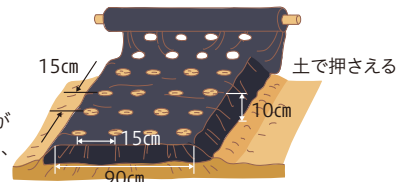


4. 畝づくり・植え付け

水はけをよくするため、ベッドの中央がやや高くなるよう丁寧にならします。植え付け1週間前までに穴開き黒色ポリフィルムマルチをします。

苗を1株ずつ
植え付けます。

ベッドの表面に凹凸がないようにならし、フィルムを敷く

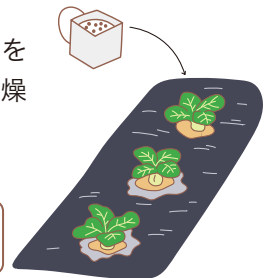


5. 追肥

必要に応じて株間に指先で穴を開けて追肥を施します。畑が乾燥してきたら水やりをします。

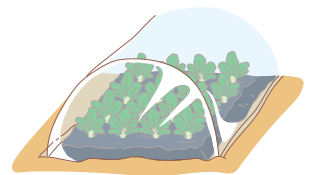
植え付け10～14日頃

1㎡あたり
②「化成肥料14-14-14」 150g



6. 防除

主な病害は白さび病・べと病・軟腐病など。いずれも早期防除に努めましょう。べたがけ資材で、葉の上を直接覆うと、農薬を使わずに害虫を防ぐことができます。



7. 収穫

種まき後、春は50～60日、夏は30～40日、秋は50～65日で収穫します。



良品は葉柄が太く
尻が膨らんでいる

バックナンバーは
こちら!



おすすめ資材

①JA 晴れの国岡山 オリジナル野菜の肥料

窒素・リン酸・カリに加え、微量元素をバランスよく配合し、野菜の元肥・追肥に幅広く使えます。



②化成肥料14-14-14

野菜・果樹・花など幅広く使えます。高成分なので少量投入で経済的です。



ダイコン



● 見分け方

ずっしり重く表面が滑らかで、ひげ根の毛穴が浅く少なめで、ゆがみがなく均一に並んでいるものがよいです。

● 主な栄養成分

消化を促進する酵素を含むアミラーゼが、餅など正月料理の食べ過ぎによる胃もたれに効果があるといわれています。

／ ダイコンを使って1品 ／

ダイコンのラザニア風

材料／1人分

ダイコン	100g
合いびき肉	70g
タマネギ	30g
シメジ	30g
油	小さじ1
カットトマト(缶詰)	90g
A ケチャップ	大さじ1弱
L ウスターソース	大さじ1弱
塩・コショウ	少々
ピザ用チーズ	30g
カイワレ大根	少量

つくりかた

- ① ダイコンは皮をむき3mmの厚さに輪切りにして水にさっとくぐらせる。
- ② 耐熱容器に①を入れラップをして600Wの電子レンジで1分40秒加熱し、水気をしっかり取る。
- ③ タマネギとシメジをみじん切りにする。
- ④ 熱したフライパンに油を入れ、合いびき肉を火が通るまで炒め、③を入れてさらに炒める。
- ⑤ 火が通ったらAを入れ水気がなくなるまで煮詰め、塩・コショウで味を整える。
- ⑥ 耐熱容器に②⑤ピザ用チーズ各半量を順に重ねてのせ、もう半量を同じようにのせて二重の層にする。
- ⑦ トースターでピザ用チーズが溶けて少し焦げ目がつくまで約4分焼く。
- ⑧ 洗って短く切ったカイワレ大根をのせる。

カロリーが高い「ラザニア」を、食物繊維がとれるダイコンを使って、低カロリーでヘルシーに作りました。

🕒 調理時間 30分 ※1人分あたり

🔥 エネルギー 391kcal 🧂 塩分 2.6g

🥬 野菜摂取量 約160g(1日の目標野菜摂取量の約2分の1)
※カットトマトを除く



理事会だより 規程の一部変更ほか

令和7年度11月期理事会を11月28日に開き、次の事項について審議し、承認されました。

【附議事項】第1号議案：職能資格規程の一部変更／第2号議案：遊休等業務外固定資産の早期売却にむけた方針の設定／第3号議案：令和8年度水稲育苗利用料（種籾価格の値上げ等）による見直し／第4号議案：出資口数の減口（組合員の申し出による）

【報告事項】令和7年度10月末事業実績／投資信託総合取引約款の一部改正に伴う関係規程の一部変更／農産物検査業務規程の一部変更／リスク管理委員会報告（自主（自店）検査結果（令和7年度第2四半期）の報告・マネロン等の防止にかかる対応状況（令和7年度上半期）／償却・引当等の処理／中期経営計画の進捗状況（令和7年度上期）／次期役員選任にかかるスケジュール（令和7年12月～令和8年3月・各ブロック役員候補者選考委員会、4月上旬・役員推薦会議、5月中旬・監事会、5月下旬・理事会、6月26日・通常総代会）／子会社の仮決算／令和7年度JA共済コンプライアンス点検結果／令和7年度内部監査報告書（上半期）／農林中央金庫2025年度半期決算概要／その他（岡山西統括本部・総社

駅西農業倉庫の入札結果／津山統括本部・桑谷発電所水槽他修繕工事

新総代1000人が決定 任期満了に伴う

任期満了に伴う総代選挙において、立候補者ならびに推薦者が全ての区域で定数と同数となり、無投票で新総代1000人が決まりました。任期は2025年12月1日～2028年11月30日です。詳しくはお近くの支店でご確認ください。

年始の営業時間 ホームページをご覧ください

年始の各店舗・事業所・ATMの営業日、営業時間などはJAホームページをご覧ください。詳しくはこちら



管内で3団体が受賞 岡山県農林漁業近代化表彰

第65回岡山県農林漁業近代化表彰の農産部門で津山麦作経営者部会（津山市）、園芸部門で加茂シキミ生産組合（津山市）、真備ぶどう生産組合（倉敷市）が農林水産大臣賞を受賞しました。

第72回矢野賞に2人 岡本さん（倉敷市）・與田さん（高梁市）

県内の優秀な青年農業者を表彰す

る、第72回矢野賞に岡本和正さん（倉敷市）と與田十也さん（高梁市）が輝きました。



JAへ報告に訪れた受賞者（左から與田さん・岡本さん）

特殊詐欺を未然に防ぐ 野馳宮農経済センターと 新見地区推進部に感謝状

特殊詐欺を未然に防いだ野馳宮農経済センターの加藤善教センター長と新見地区推進部矢神支店渉外担当の羽場和也職員が新見警察署から感謝状を受け取りました。



感謝状を受け取る職員（左2人）

10月下旬、60代の女性が携帯電話を使用しながらATMを操作していたことから、不審に思い声をかけ、水際で詐欺を阻止しました。両職員は「今後もATMの利用者に気を配り、詐欺被害の防止に努めたい」と話します。

入札参加を希望される方へ 資格審査書類を提出ください

JAが発注する建築工事の請負契約にかかる入札参加資格審査書類の

法定調書の提出はe-taxで 税務署からのお知らせ

e-taxを利用することで、税務署に行かずに自宅や事務所などから法定調書（源泉徴収票、支払調書）を作成・提出することが出来ます。



法定調書の作成・提出はこちら

【マイナポータル連携で給与所得の確定申告がさらに簡単に！】

事業主が、e-taxで給与所得の源泉徴収票を提出することで、従業員が所得税の確定申告書を作成する際にマイナポータル連携を利用すると、給与所得の源泉徴収票の情報を申告書の該当項目へ自動で入力することが出来ます。



マイナポータル連携はこちら

LINE メンバーズカード

ポイント
ゲットしよう!

広報誌を読む

獲得ポイント数 **1ポイント**

こちらのコードを読み込んで
ポイントゲット! →



JA晴れの国岡山の 組合員になりませんか？



JAは、組合員が主人公の団体として、同じ目的を持った人たちが集まり、力を合わせ助け合う協同組合です。地域でくらす協同組合の仲間として、組合員になってJAの活動に主体的に参加し、事業を積極的に利用してみませんか？ JAの基本理念に共感し、農業の発展や地域づくりを応援していただける方を募集しています。

組合員の資格

JAは農業者によって組織された協同組合ですが、農業者でなくても組合員になることができます。組合員資格には正組合員と准組合員の2種類があり、それぞれ要件などが異なります。

正組合員 3a以上の農地を耕作、もしくは年間60日以上農業に従事し、住所または農業に従事されるほ場が岡山県内にある方。

准組合員 岡山県内にお住まいの方、または県内に勤務地がある方で当JAの各事業を1年以上継続してご利用いただいている方。

※県外にお住まいでも、一定の要件を満たしていればご加入いただけます。

加入手続きに必要なもの

- ・ご印鑑(出資配当金を受け取る口座を開設するため)
- ・身分を証明するもの(運転免許証・マイナンバーカードなど)



組合員になるためには？

1. お近くの支店で組合員加入申込書へ必要事項を記入します。
2. 預り金をお支払いください。(最低1口1,000円、最高5,000口500万円)
3. JAで資格要件等を確認後、書面による加入承認通知書が届きます。

組合員のメリット

- ・JAの各事業で、さまざまなサービスが受けられます。

LINE組合員証ご利用で
毎週水曜日はガソリン1リットル

5円
引き

ご利用
いただける店舗など
詳しくはこちら



LINE
メンバーズカード

組合員になる

獲得
ポイント数 5ポイント

詳しくは
こちら



お問い合わせ・お申し込みはお近くの支店へ

2025年度 JAの巡回人間ドック(健診)のお知らせ(2月)

地域の方を対象にした健康診断を実施します。ご希望の方は3週間前までに各お問い合わせ先にお申し込みください。

実施月日	統括	会場	開始時間	お問い合わせ先	
3日(火)	岡山東	佐伯支店	8:30	和気アグリセンター	0869-93-3333
17日(火)	津山	鏡野町中央公民館	9:00	鏡野支店	0868-54-0223
18日(水)					
19日(木)	岡山東	吉永支店	8:30	吉永支店	0869-84-3161
25日(水)	岡山西	芳井生涯学習センター	9:00	井原芳井支店	0866-72-1414
26日(木)	津山	久米支店	8:30	久米支店	0868-57-3141
27日(金)					

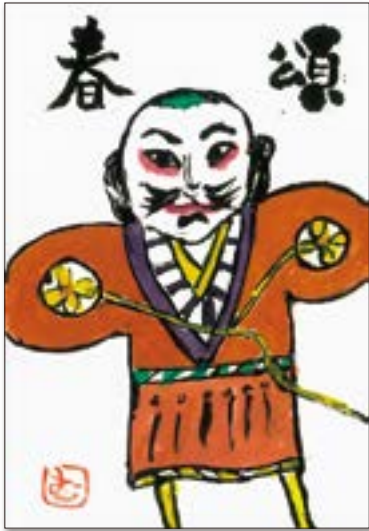
読者のみなさまから
お寄せいただいた
イラストやお便りなどを
ご紹介!!



寒さでタンポポの綿毛が固まりました
井原市・AMIさん



寒い時期、茎ブロッコリーは少しずつでも確実に育ってくれる貴重な存在です
赤磐市・花ちゃん



岡山市・山谷睦子さん



1本の茎からたくさんさんのユリの花が咲きました
津山市・松永一恵さん

▼「広げよう女性部の輪」など地域と一体となつての取り組みは参考になります。今後もこうした取り組みの紹介を期待します。

総社市・本行章一さん(70代)

▼広報誌12月号の特集を読んでも、ますます「にじのきらめき」を購入してみようと思いました。

奈義町・黒ちゃん(50代)

▼広報誌12月号の特集で、「きぬむすめ」と「にじのきらめき」それぞれの特長や栽培ポイント、味など気になるところを知ることができてよかったです。

岡山市・妹尾桂子さん(60代)

▼広報誌を通じて、頑張っている農家さんを知ることができます。県産の食べ物を購入したいです。

笠岡市・枝木菜穂さん(20代)

▼ブドウを育て始め、たくさん実りうれしかったです。農業の知識やノウハウを身につけ、よりおいしい果物や野菜を作ります。

備前市・ひろさん(30代)

あぜみち川柳

出荷して 総て売れば ニッコリだ
たか坊さん

ごぼう抜き 友のジョークに 根をあげる
なっちさん

おせちこそ 地産地消だ 朝市へ
春風さん

今年こそ 春の七草 そろえたい
川端幸蔵さん

冬野菜 寒さに耐えて 美味さ増す
おくぴーさん

時過ぎて はや新米の 餅準備
くにちゃん

里いもが けんちん汁で 活躍し
でかばんださん

テーマ

日頃の農作業で感じる想い、家庭菜園や直売所の楽しみやエピソード、農の風景など。

※作品は楷書で書いていただき、漢字にはふりがなを、記入ください。

みなさまからの「写真」「イラスト」

「お便り」「川柳」を

大募集しています。

ご意見・ご感想もお待ちしております!!



正解者の中から抽選で20人の方に直売所などで使える 「農協全国商品券(2,000円分)」をプレゼント!!

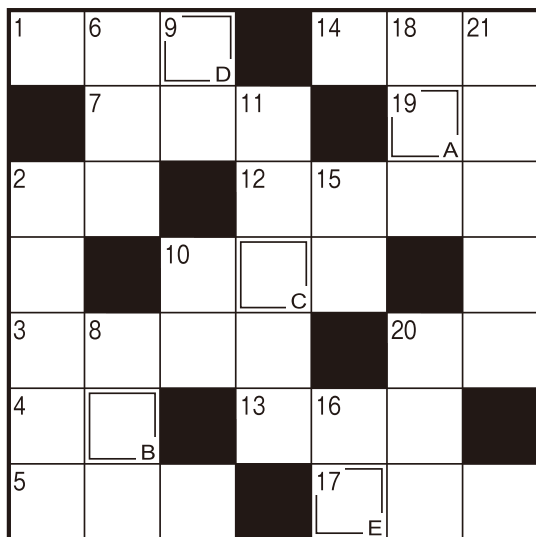
二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか? (出題/ニコリ)

↓ タテのカギ

- 2 メレンゲを作るときに使う道具
- 6 鍋料理の締めにも使う麺
- 8 晴れかなあ、雨かなあ
- 9 牛、豚、鶏のものがよく流通しています
- 10 令和8年の干支です
- 11 歯ブラシにつけます
- 15 自分の兄弟姉妹の息子
- 16 ダルメシアンは——模様の犬です
- 18 書初め大会で——に選ばれた
- 20 受験生が空欄に書き込んでいくもの
- 21 単位はアンペアです

→ ヨコのカギ

- 1 正月に食べる、モチ入り汁物といえば
- 2 どら焼きに挟み込まれているもの
- 3 おせち料理の定番の一品。卵が材料の一つ
- 4 交差——、及第——
- 5 右手が——、という人が多数派です
- 7 本を読み終えること
- 10 ガラガラとのを洗います
- 12 旅立つ人の——に駅のホームまで行った
- 13 ワラや木やレンガの家を建てる童話があります
- 14 漢字で書くと百足。足の多い生き物です
- 17 椅子のこと。ロッキング——
- 19 アルカリと混ぜると中和します
- 20 焚くとよいかおりが広がります



クロスワードパズル
先月号(12月号)の答え
「ボタンナベ」

応募総数
1,548件



応募締切

2026年1月15日(木)必着

お便りなど投稿・プレゼント応募方法

LINE・ハガキ・応募フォーム・FAXのいずれかに必要
事項をご記入いただき、ご応募ください。

ハガキ

85円 切手	〒713-8113
倉敷市玉島八島 1510-1	
JA晴れの国岡山 企画課 「晴ればれ」係	
●郵便番号・住所 ●氏名 ●電話番号 ●年齢 ●パズルの答え ●よかったコーナー (複数回答可) ●ご意見・ご感想	

LINE



応募フォーム

スマートフォン
から簡単応募▶▶▶

JA晴れの国岡山 晴ればれ応募

FAX

086-476-1840

※誌面の都合上、投稿いただいたすべてを掲載できない場合がございます
がご了承ください。

※個人情報、投稿コーナーへの掲載
や賞品発送、JA事業運営以外では使
用いたしません。

※投稿写真は、人物など被写体に関す
る肖像権などに触れる可能性のない
ものに限ります。また、可能なかぎり
写真の説明をご記入ください。

※ペンネームをご希望の方は、ご自身の
ペンネームを必ず明記してください。

※投稿いただいた作品は返却いたしま
せん。

※「みんなのひろば」の掲載がプレゼン
トの当選とは限りません。当選者の発
表は賞品の発送をもってかえさせて
いただきます。

※掲載を希望されない場合はその旨を
明記してください。

あとがき

冬の冷え込みが厳しくなり、鍋がおいしい季節になりました。県産の冬野菜や肉を
使った鍋を味わい温まりながら、今年の目標を考えたりしています。新たな一年がみ
なさんにとって実り多いものになりますように。(宮本)



とびきり フェイス!

子どもたちの「食と農」の体験を
笑顔とともに紹介します

「備中牛®」を使った

牛丼いただきます!



お肉が柔らかくておいしかったです。
地元の食材について学ぶことが
できました
(高梁市立川上中学校)

各SNSでも旬な情報を発信中!! //



晴ればれ

vol.69 2026年1月号

発行 晴れの国岡山農業協同組合 〒713-8113 倉敷市玉島八島1510番地1
編集 総務部(企画課) TEL.086-476-1830 <https://www.ja-hareoka.or.jp/>
発行日 2026年1月1日発行(毎月1日発行)

ホームページ
随時更新中!!



JAグループ

耕そう、大地と地域の未来。

